

＜同朋大学のアドミッションポリシー(入学者受入方針)＞

〔使命と建学理念〕

本学は、建学の理念である「同朋和敬(共なるいのちを生きる)」のもとに運営されている仏教系大学です。世界では、人種や言語、様々な特徴を持つ多様な人々が暮らしています。そうした人々が「共に学び、共に育ち、共に生きる」、そのことが実感できる大学であろうとしています。そのため障がい者にも優しい大学づくりを進めています。こうした大学の理念に共感し、この大学でキャンパス生活を送ってみたい、そういう学生を求めています。

そのため、学生には、人間としての強い倫理観と共感力、自発性と行動力が期待され、共通教育を基礎に、学部での専門教育が組み立てられます。

〔期待する学生像〕

本学は、文学部と社会福祉学部からなる小規模(入学定員 260 人)の大学です。だからこそ、学生間や学生・教職員間での人間関係が濃密な中で、充実したキャンパス生活を送り、関心がある問題に共にチャレンジし、新しい自分を発見したいと考えている人を求めています。

本学は、「卒業認定・学位授与に関する方針(DP)」において、知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合的な学修経験と創造的思考力の 4 つについて具体的に定め、養成する人間像を明示し、このアドミッションポリシーでは、本学に入学してほしい方々への期待について明らかにしています。大学での学び(基礎力・応用力・実践力)に加え、自分の興味や関心に応じて、多様な人々と関わり、スポーツやクラブ活動にも懸命に取り組める人、そして広く世界や社会に関心を持ち、問題を掘り下げ本質をつかむ洞察力を身につけたい人たちを本学は歓迎します。

〔入学試験の基本方針〕

人間の多様な面での能力を図るため、本学では、指定校推薦、公募推薦、自己推薦、スポーツ技能推薦、AO 入試、一般入試、「センター試験」利用入試など本人の学びへの姿勢や能力、入学後の発展の可能性などを探るため、多様な形で入学者を選抜しています。